2020年8月8日

学　生　各　位

学長　北　川　博　昭

新型コロナウイルス感染症への対応について（通知）

新型コロナウイルス感染症に関しては、第2波の襲来が懸念され、引き続き感染防止と健康状態の確認に注意を払うことが求められております。

その中で、今後本学で行われる学内での試験（8月17日から第2・3学年、8月24日から第1・4学年の前期定期試験、8月19日から21日まで第6学年の総合試験Ⅰを実施）及び後期からの講義・実習等の実施に際し、必要な事項を下記に取りまとめたので、適切な対応を取るよう周知いたします。

なお、今後の流行状況や監督官庁の要請に応じて、行動制限の強化など、速やかに強い感染防止対策等を講じることを申し添えます。

記

1　新型コロナウイルス感染症対策についての検討の継続について

新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き、事態が収束するまで学長を議長とする教学緊急対応会議において、審議のうえ決定する。

2　新型コロナウイルス感染症発生に備えた大学の体制の確認

学生は、授業や実習、試験勉強等の目的以外の登校は、許可がある場合を除き禁止とする。

(1)　休校とその解除に関する具体的基準と手順（流行状況により基本方針を決める）並びに学内で感染者が発生した場合の対応

1）休校に関する具体的基準

○文部科学省事務連絡（令和2年2月25日）「児童生徒等に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について（第二報）（令和2年2月25日時点）を参考に、感染状況による休校の基準を以下のとおりとする。

○都道府県、保健所設置市、特別区などの衛生部局に相談する際には事前に感染者への聞き取り調査を充分行う。

新型コロナウイルス感染症の感染状況とその対応基準

	感染状況	対応（基準）
1	新型コロナウイルス感染症に罹患した学生・教職員が、発熱や咳などの症状が出ている状態で登校した場合	感染状況により都道府県、保健所設置市、特別区などの衛生部局と相談して一部または全部休校を決定する。 休校は感染状況に応じ、学年の一部又は全部、大学全体を段階的に判断する。
2	新型コロナウイルス感染症に罹患した学生・教職員が、発熱や咳などの症状が出ていない状態で登校した場合	
3	濃厚接触者が確認された場合	休校とはしない。 濃厚接触者には即時帰宅指示し、2週間の自宅待機を指示する。また、濃厚接触が確認された学生は、学務課に連絡するとともに健康観察票と行動記録表を提出する。 濃厚接触者と接触した学生は、健康観察に努めるよう指示し、異変が生じた場合学務課に連絡する。 健康観察後、感染者が発生した場合は上記１、２の対応とする。
4	地域全体で流行した場合	公衆衛生対策として全面休校とする。
5	大学附属病院等で、アウトブレイクが発生した場合	全面休校とする。

2)学内で感染者が発生した場合の対応

〇学内で一人又は複数感染者が発生した場合の感染予防対応は、以下の基準とする。

	感染の状況	感染者数	対応
1	1学年で感染確認	一人	原則休校としない。
2	1学年で感染確認	複数	当該学年を休校とする。
3	複数学年で感染確認	各一人	当該学年を休校とする。
4	複数学年で感染確認	複数	全学的に休校とする。

〇休校、閉鎖及び罹患者の自宅療養期間はいずれも原則潜伏期と同等とする(この場合は14日間）。ただし、休校期間中にさらなる感染者が発症した場合には、休校期間の延長を検討する。

〇学年閉鎖（一部閉鎖を含む）、事務室閉鎖等については、都道府県・保健所等の衛生部局と相談し、その結果を受けて教学緊急対応会議で検討を行い、決定する。

3）学生が新型コロナウイルス感染症の罹患を疑う状態になった場合の対応について

○学生が罹患もしくは濃厚接触と判断された場合の対応は以下の基準とする。

状　態	学生への対応	その他対応事項
本人が陽性(無症候を含む)	入院または隔離 (保健所の指示に従う) その後も必要に応じて 本学で PCR 検査を施行	行動記録の確認 濃厚接触者の抽出 使用場所の消毒
本人が濃厚接触者と認定される	保健所の指示に従う （14 日間の自宅待機） その後も必要に応じて 本学で PCR 検査を施行	行動記録の確認 体調管理
同居家族が濃厚接触者と認定される	本人の体調を確認のうえ、登校を認める	行動記録の確認 体調管理
本人が発熱などの体調不良 PCR 検査が陰性または結果未定	陰性または体調回復の日にちが遅い方から 24 時間の自宅待機	行動記録の確認 体調管理
同居家族が発熱などの体調不良 PCR 検査が陰性または結果未定	本人の体調を確認のうえ、登校を認める	体調管理
本人が発熱などの体調不良 診察医より PCR 検査の必要が無いと判断された	体調回復（解熱剤無しで解熱）から 24 時間の自宅待機	行動記録の確認 体調管理
同居家族が発熱などの体調不良 診察医より PCR 検査の必要が無いと判断された	本人の体調を確認のうえ、登校を認める	体調管理
帰国者と接触・同居し、帰国者の PCR 検査結果が陰性	本人の体調を確認のうえ、登校を認める	行動記録の確認 体調管理
帰国者と接触・同居し、帰国者の PCR 検査結果未定	該当者の PCR 検査結果が出るまでは自宅待機	行動記録の確認 体調管理
無症状の濃厚接触者と 接触・共に行動	本人の体調を確認のうえ、登校を認める	行動記録の確認 体調管理

※上記に依らず、些細な体調の変化等を含め、気になることがあれば随時学務課へ報告してください

(2)体温37.5度以上の場合等体調不良時の学生の対応

・学生は登校前に体温測定を必ず行い、健康観察票に必ず記入し、随時携行する。

・学校保健安全法指定感染症における本学症状判断に従い、体温37.5度以上の症状の場合は、登校せず、自宅待機とする。

・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く等の場合は、居住地の【帰国者・接触者相談センター】に連絡し、その指示に従う。

(3)同居家族で感染者若しくは濃厚接触者が出た場合の学生の対応について

1)同居家族内で感染者が出た場合

・学生本人を濃厚接触者とする。
・学生本人は学務課に必ず報告をする。
・学生本人は濃厚接触者のルールに従い、経過観察として接触日を0日として14日間の自宅待機、健康観察票の記録を必ず行う。
・学生本人に症状（37.5度以上の発熱、咳、痰など）が出現した場合は登校を控え、学生本人から【帰国者・接触者相談センター】へ電話連絡する。
・不明な点があれば、学務課（学医）を通じて感染制御部に問い合わせること。

2)同居家族内に濃厚接触者が出た場合

・当該濃厚該当者に症状がなく、学生本人にも症状（37.5度以上の発熱、咳、痰など）がなければ、感染予防対策を徹底し、登校可とする。
・学生本人は、当該濃厚接触者の健康観察予定期間及びその結果を、学務課に報告する。
・学生本人は、当該濃厚接触者又は他の同居家族に発熱等の症状が出現した場合、学務課に連絡する。この場合、発熱者がPCR検査により新型コロナウイルス陰性が証明されるまで、又は軽快し検査の必要がないと判断されるまでは、自宅待機が望ましい。
・当該濃厚接触者又は他の同居家族が新型コロナウイルスの感染が明らかとなった場合は、上記1）「同居家族内で感染者が出た場合」に従う。
・不明な点があれば、学務課に問い合わせること。

3　その他

来る前期期末試験の実施にあたって万全を期すよう、試験開始1週間前より別添の行動記録票、健康観察票を記入すること。

また、どのような方策を講じようとも、大人数が集まる状況においては、感染のリスクは皆無とはならない。講義・実習・研究室などの大学の活動も例外ではない。このことをすべての学生が念頭において、感染予防を主眼とする行動を心がけること。

以 上

新型コロナウイルス感染症対策の為の行動記録票

別紙様式１

学生番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

①いつ		②どこで	③何をしたか	④誰と （接触した者の氏名等）	⑤連絡先 （接触者の連絡先）	⑥備考
日付	時刻					
（例） 7/○	9：00～ 17：00	自宅	Web 講義	母	000-0000-0000	マスク着用なし

※当様式については、必要に応じて提出を求めます

健康観察票

別紙様式 2

これは、学生自身の体調を管理するためのセルフチェック票（健康観察票）です。もしも下記の症状が続くようであれば、
「帰国者・接触者相談センター」へ電話連絡をして下さい。

1. 息苦しさ（呼吸困難）、だるさ（倦怠感）、高熱等の症状のいずれかがある場合
2. 重症化しやすい方※1で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

※1 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD 等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

3. 上記に依らず感冒症状が 4 日以上続く場合は、必ず「帰国者・接触者相談センター」へ連絡すること。

学生番号			氏　名													
日　付		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
体温計測		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
呼吸症状	咳嗽	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	呼吸困難	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	鼻汁・鼻閉	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	咽頭痛	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
その他	味覚・嗅覚異常	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	嘔気・嘔吐	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	頭痛	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	全身倦怠感	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	関節筋肉痛	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	下痢	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	その他															
備考																

※当様式については、必要に応じて提出を求めます